

観光人流モニタリングサービス「おでかけウォッチャー」における
「デジタル観光統計（訪日版）」を搭載した新しいサービス
「おでかけウォッチャー（訪日版）」（以下、本サービス）の提供開始について

公益財団法人九州経済調査協会（本社：福岡県福岡市、理事長：縄田 真澄、以下「九州経済調査協会」）は、観光人流モニタリングサービス「おでかけウォッチャー（<https://odekake-watcher.info/>）」において、株式会社ブログウォッチャー（本社：東京都中央区、代表取締役社長：新村 生、以下「ブログウォッチャー」）が提供する国内最大規模の訪日外国人位置情報ビッグデータ「デジタル観光統計（訪日版）」を活用し、新しいサービス「おでかけウォッチャー（訪日版）」（以下、「本サービス」）の提供を開始することをお知らせいたします。

本サービスは訪日外国人の日本国内での動態を分析するためのサービスであり、自地域への国籍別来訪者数などの基礎情報把握から、訪日外国人誘客の日本全体での周遊ルート把握、スポットやメッシュ単位の観光目的把握を通じて、定量的なデータを元に訪日外国人向け観光戦略・施策の検討を可能にします。また、本サービスの利用に関し、5月17日（金）にブログウォッチャーが主催するセミナーの開催も予定されています。訪日外国人を地域誘客するための、分析手法・地域事例・本サービスの活用方法をお伝えします。

詳細は以下をご参照ください。

■おでかけウォッチャー（訪日版）の開発背景

コロナ前水準を超える訪日外国人が日本を訪れる中、三大都市圏への集中により都市部ではオーバーツーリズムが発生しています。一方、地方では訪日外国人を誘客したいものの、何をどのように検討していけば良いか分からない状況にあります。

希望する全ての地域が訪日需要を享受できる状況の実現を目指し、地方自治体が直面する誘客の課題に対して、効果的な検討手法とダッシュボード開発を通じて解決策を提供します。

■おでかけウォッチャー（訪日版）について

本サービスは「デジタル観光統計（訪日版）」を搭載した、データ分析初学者でも扱いやすい直感的な操作とグラフィカルな可視化が特徴の観光人流モニタリングツールです。

本サービスの開発には、株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村吉弘）の観光に関する調査・研究、地域振興機関『じゃらんリサーチセンター』（センター長：沢登 次彦、以下 JRC）とブログウォッチャーが実施した共同研究「地図で読み解くインバウンド地方分散研究」の研究成果の一部が活用されています。

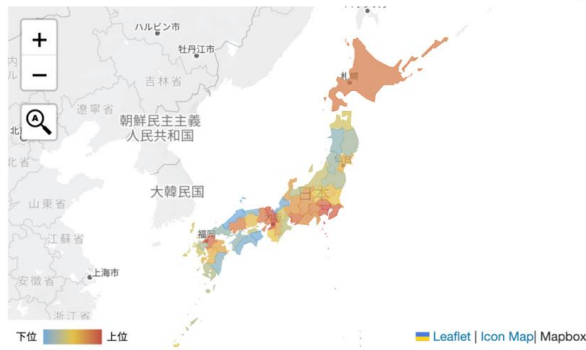
※「デジタル観光統計（訪日版）」に関して、詳細はこちらをご覧ください。

https://www.blogwatcher.co.jp/new-s/inbound_231020/

※訪日外国人のデータは、スマートフォンアプリ利用者から個別に許諾を得て取得したGPS位置情報データを、特定の個人が識別されない形式に加工して集計しております。

■おでかけウォッチャー（訪日版）の分析機能

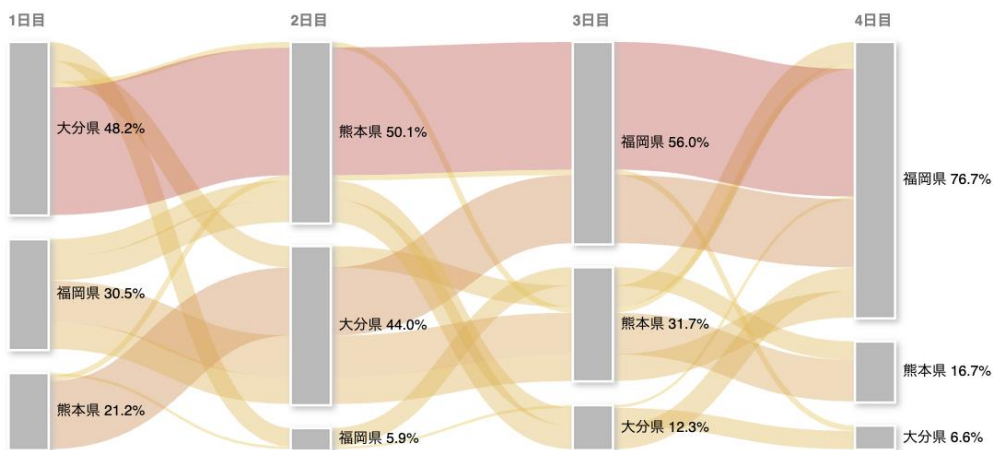
都道府県別周遊者数（順位）



周遊パターン別周遊者数

順位	周遊パターン	周遊者数	構成比	平均滞在日数
1	千葉県-東京都	635,740	8.16%	6.36
2	東京都-神奈川県	510,519	6.55%	8.04
3	京都府-大阪府	507,249	6.51%	5.68
4	東京都-大阪府	337,583	4.33%	7.60
5	埼玉県-東京都	247,345	3.17%	8.78
6	東京都-京都府-大阪府	210,771	2.70%	9.84
7	東京都-京都府	210,533	2.70%	7.36
8	大阪府-兵庫県	154,232	1.98%	7.52
9	福岡県-大分県	115,799	1.49%	4.98
10	東京都-山梨県	114,989	1.48%	5.81
11	北海道-東京都	72,604	0.93%	7.94
12	東京都-静岡県	71,089	0.91%	6.53
13	東京都-長野県	57,672	0.74%	6.53
14	千葉県-東京都-神奈川県	57,468	0.74%	8.95
15	福岡県-熊本県	55,289	0.71%	5.47
16	大阪府-奈良県	51,364	0.66%	6.71
合計		7,793,402	100.00%	8.14

人気のエリア・人気の都道府県単位の周遊パターンを把握



都道府県単位の周遊パターンを指定し、日別の周遊ルートを把握



機能の一覧

■研究員コメント

じゃらんリサーチセンター・松本 百加里 研究員

インバウンド旅行者は、複数の都道府県をまたいで広域周遊します。そのため、単体の地域だけで旅行者の動態分析をしても傾向が捉えきれない場合があります。そこで、本研究では日本全体を俯瞰して周遊ルートの傾向が把握できるように、市場別に地図にビジュアライズして、それぞれのゴールデンルート可視化しました。この主要周遊ルートを把握した上で、自分の地域がこのルートに入っているのか、入っていない場合は日帰り圏内か、かなり離れているのかなど距離感をみながら、地域のエリア特性に合わせたルート戦略を考えるヒントにさせていただけると幸いです。

※JRCとブログウォッチャーの共同研究「地図で読み解くインバウンド地方分散研究」の詳細はこちら (https://jrc.jalan.net/wp-content/uploads/2024/02/Vol75-X4_all.pdf)

■オンラインセミナーの実施概要

ブログウォッチャー×じゃらんリサーチセンターの共同セミナーをオンラインにて開催。

JRCで本研究を担当した松本百加里研究員が、2023年度最新データをベースに、市場別の主要周遊ルートの傾向、診断チャートを活用してエリアルート戦略の検討ステップを地域事例とともに解説します。また、「おでかけウォッチャー（訪日版）」ダッシュボード画面を見ながら、具体的な活用方法についてもお伝えします。

【日時】2024年5月17日（金）14～15時 オンライン・無料

【対象】自治体・地域観光関連事業者

【プログラム】

「地図で読み解くインバウンド地方分散研究」より戦略立案+具体事例を解説 JRC研究員 松本 百加里

「おでかけウォッチャー訪日版」の活用方法を解説 ブログウォッチャー企画開発担当 米田 晃子

【申し込みフォーム】

https://www.blogwatcher.co.jp/seminar/recruit_blogwatcher_seminar2405/

「おでかけウォッチャー」は、デジタル観光統計を、全国市区町村どこでも、だれもが活用できるよう設計しました。本サービスを通じて、観光行政に関わる多くの方々が、地域のいまを知り、未来を拓く道標を得られることを目指しています。

【参考】

■サービス提供を行う WEB サイト

<https://odekake-watcher.info/>

■サービス内容

- ・市区町村および観光スポット来訪者の行動特徴を準リアルタイム提供する Web サービスです。
- ・任意の観光スポットに対する、月曜～日曜までの日別来訪者数を翌木曜に把握可能です。

■サービス提供対象

- ・観光行政に関わる政策主体（政府機関、都道府県、市区町村、DMO、観光協会など）を対象として、無償で基本サービスをご利用いただけます。

■サービス利用方法

- ・「おでかけウォッチャー」WEB サイト経由で、無償アカウントの発行手続きをお申し込みいただくことでご利用いただけます。

■公益財団法人九州経済調査協会について

代表者： 理事長 縄田 真澄

所在地： 〒810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通 2-1-82 電気ビル共創館 5F

設立： 1946 年

事業内容：

九州・沖縄・山口の地域経済産業に関する総合的調査研究と政策立案をおこなうシンクタンク。九州の経済界、行政、大学などによる産学官で設立。九州経済白書、九州経済調査月報などの経済情報誌の発行。全国の地域経済データをクラウドで提供するプラットフォーム「データサラダ」の開発・運営。

URL： <https://www.kerc.or.jp/>（九州経済調査協会）

URL： <https://datasalad.jp/>（データサラダ）

【本リリースに関するお問い合わせ先】

公益財団法人九州経済調査協会 岡野・渡辺・河村

TEL: 092-721-4907 FAX: 092-721-4904 MAIL: general@kerc.or.jp